

様式第二十一（第13条関係）

認定事業再編計画の内容の公表

1. 認定をした年月日
令和3年12月10日

2. 認定事業者名
ワタキューホールディングス株式会社

3. 事業再編の目標

（1）事業再編に係る事業の目標

（価値観）

当グループは、1872（明治5）年、村田久七が「綿屋の久七」として製綿業を開始し、1962（昭和37）年には、寝具と洗濯を一括して病院に提供するビジネスモデルを構築し、病院基準寝具業者となりました。以来、病院寝具リースを主体に、環境の変化や社会の要請に対応して、食事の提供業務、滅菌業務、清掃業務へと事業領域を広げ、さらに院外調剤薬局、福祉用具のレンタル・販売、人材派遣、建物の設計・施工など、主に医療と福祉関連を対象としたさまざまな分野に挑戦してまいりました。

しかし、足元では、少子高齢化に伴う労働力人口の減少で、特に当グループが携わる医療・福祉関係の労働力の不足が深刻化しています。こうした状況のなかで、私どもは、デジタル化への対応と生産性の向上を進める上で、持株会社である当社を中心に①グループ全体を俯瞰した効率的な資金調達、②全国工場を中心とした不動産管理全般の集約・大規模化、③その一元管理体制を構築し、グループの持つ総合力をさらに発揮して、継続的に質のよいサービスを提供していくことが使命と考えております。

私どもの仕事は、世間の注目を集めるような華やかなものではありません。けれども、医療関係者や福祉施設の皆様、そしてもちろん患者様や利用者様に必要とされる、なくてはならない仕事であります。

（ビジネスモデル）

当グループは、上記のとおり病院寝具リースを主体に、環境の変化や社会の要請に対応して、病院という顧客をベースに食事の提供業務、滅菌業務、清掃業務へと事業領域を広げ、さらに院外調剤薬局、福祉用具のレンタル・販売、人材派遣、建物の設計・施工など、主に医療と福祉関連を対象に商品・サービスを提供しております。特にグループ内の各社は、病院・介護施設等の共通のお客様を抱えております。一方リネンサプライというサービスをベースにしてホテルなどに顧客を拡大してきました。

医療・福祉関係の労働力の不足が深刻化している状況の中で、グループとしてより効率的な事業運営を行い、お客様に質の高い商品・サービスを提供することが必要であると判断しました。そこで、グループ一体となって経営を行う必要があり、持株会社体制へと移行しました。

また、効率的な事業運営に向けて病院及びホテル寝具リース（リネンサプライ）や病院給食事業の生産性を高めていくには、生産工場（クリーニング工場やセントラルキッチン）を集約化・大規模化するとともに生産性の高い最新鋭の設備を導入していく必要があります。そのためには、多額の資金が必要となりますが、グループの資金調達を持株会社である当社に集約化することによって、グループとしての資金調達力を高めます。

さらにグループ全体として、工場を中心に不動産全般を当社の管理下に集約し、一元管理体制を構

築することによって、工場の生産性向上に加え、グループが所有する不動産全般の効率化や有効活用を図ります。

(戦略)

当社が、グループの本社として各グループ会社を統括・管理する機能を持つことによって、病院・介護施設という共通のお客様を持つグループ各社間にシナジー効果を発揮させる役割を担うことによって、以下の大きく2つの方針を立てました。

①オペレーションの改善

- ・病院、ホテルリネンの分離による効率的な生産体制
- ・サービスのワンストップ化と地域ごとの最適工場配送体制

②持株会社である当社を中心とした資源管理による事業拡大

- ・M&A等、工場その他不動産集約による生産性向上
- ・最新設備のキャッチアップと全国展開

(持続可能性・成長性)

本再編計画の実行により、提供価値が高められるのは、病院・介護施設・ホテルといった直接のお客様に対してだけではありません。病院・介護施設・ホテルにおいて当グループの商品・サービスを利用して頂いている患者様や利用者様に対しても高品質なサービスが提供できるようになります。当社が創業当時から今も目指している高品質とは下記2点となります。

①リネンの提供を施設様のリクエストに合わせて、種類・デザイン・サイズ・数量を速やかにご提案し、洗浄・乾燥・検品をワンストップでご提供することで、施設様側のご負担を極限まで軽減して差し上げることです。

②患者様や利用者様におかれましては、清潔かつ肌触りの心地よさに触れて頂くことで、すがすがしくリラックスできる時間をご体感いただき、その施設へ再訪したいと思っていただくことです。施設のお客様満足度の向上に向け空間提供にひと役買うことに尽きます。

こうした私たちの高品質へのこだわりによって病院・介護施設・ホテルからは“なくてはならない”会社として評価して頂けます。

この結果、当グループは、お客様から選ばれる持続的な「パートナー」となり、長期に渡って成長を続けることが可能となります。

(ガバナンス)

当社に事業管理機能及び子会社管理機能を置き、事業執行と監督機能が明確に分離されたガバナンス体制を構築し、当該計画の進捗状況を適宜適切にモニタリングできるようにいたします。

(2) 生産性の向上を示す数値目標

計画の対象となる事業の生産性向上としては、2024年6月期には2021年6月期に比べて従業員一人当たりの付加価値額を10%向上させることを目標とします。

財務内容の健全性の向上としては、2024年6月期において対象事業会社の有利子負債はキャッシュフローの3.0倍以内、経常収支比率は108%以上となる予定です。

4. 事業再編の内容

(1) 事業再編に係る事業の内容

①計画の対象となる事業

リネンサプライ事業

<選定の理由>

リネンサプライ業界は、小規模な工場を持つ事業者が多数おり、労働集約的で生産効率が悪く、売上高は人手による作業量で決まるといった思想が業界全体に敷衍しており、生産効率や資本集約といった考え方が起こり難い業界でした。当グループの工場も各社・地域に小規模に分散して存在し、設備が老朽化しているものもあり、労働力不足の深刻化のなかで生産性の改善に迫られています。このような状況のもと、小規模に分散している工場を集約化・大型化するとともに、設備更新（特に自動化設備への更新）を図ることによって生産性を向上させることを目指しています。

しかしながら、生産設備の更新には多額の投資が必要ですが、当グループ内にも小規模であるゆえ、単独で大規模な投資を行う体力の無い会社も存在します。そこで、グループの資金調達と設備投資を当社に集約させることによって、グループ内の小規模な会社でも設備投資を行うことができ、かつグループ一体で工場設備を管理することが効率的であると考えて、生産機能を中心としたリネンサプライ事業の事業再編に着手することにしました。

また、今回の不動産管理部門の移管、不動産全般の集約及びそれに伴う工場の再編により、病院リネンとホテルリネンの両方を取り扱っている工場（法令により病院リネンとホテルリネンとは生産ライン及び建屋は区分されているが、同一の敷地内に病院リネンの建屋とホテルリネンの建屋が存在する兼用工場）について、病院リネンの工場とホテルリネンの工場に原則分離し、それぞれの工場に特化した工場とすることで生産性を向上させ、洗濯物1単位当たりのコストを低減させることを目指します。

②実施する事業の構造の変更と分野又は方式の変更の内容

これまで工場の投資はグループ各社が個別に行ってまいりましたが、会社分割により不動産管理部門を当社に移管し、今後はグループの持株会社である当社が行います。さらに既存の工場については、ワタキューセイモア株式会社の工場を当社へ集約します。

不動産集約の完了に伴って、当社がそれぞれの不動産全般を一元管理するマネジメント体制を構築し、グループ各社と不動産賃貸契約を締結し、連携して運用する方式となります。

また、当グループでは、同じ工場では病院リネンとホテルリネンの両方を扱う工場が多くありますが、工場の当社への集約・再編を契機として、病院リネンを扱う工場とホテルリネンを扱う工場に分離し、特にこれまで生産性が低かったホテルリネンに関しては最新鋭のホテルリネン専用の工場を建設することにより、生産性の向上（単位当たりの原価の低減）を図ります。

(事業の構造の変更)

・事業用資産等の管理及び運用に関する事業

<分割会社>

名称：ワタキューセイモア株式会社

住所：京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚 12-2

代表者の氏名：村田 清和

資本金：4,850 万円

<承継会社>

名称：ワタキューホールディングス株式会社

住所：京都府京都市下京区烏丸通高辻下ル薬師前町 7 0 7

代表者の氏名：村田 清和

資本金：4,850 万円

(事業の分野又は方式の変更)

当社への工場集約に合せて、当社で最新鋭のホテル専用工場を建設し、周辺の兼用工場からホテルリネンのクリーニングを集約してホテルリネンの生産性向上を図ることにします。同時にホテルリネンの生産能力を増強し、旺盛なホテルリネンの需要に応え、取扱量の増加による生産性の向上も図ります。

なお、当該事業再編計画による生産性の向上は当該事業分野に照らしても持続的なものと見込まれます。また、当該事業分野は過剰供給構造にはなく、さらに一般消費者及び関連事業者の利益を不当に害するおそれがあるものではありません。

(2) 事業再編を行う場所の住所

京都府京都市下京区烏丸通高辻下ル薬師前町707

ワタキューホールディングス株式会社

京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚12-2

ワタキューセイモア株式会社

(3) 関係事業者・外国関係法人に関する事項

(ワタキューセイモア株式会社)

ワタキューホールディングス株式会社は発行済株式総数の100%を保有しており、関係事業者に該当する。

(綿久リネン株式会社)

ワタキューホールディングス株式会社は発行済株式総数の100%を保有しており、関係事業者に該当する。

(東洋リビングサービス株式会社)

綿久リネン株式会社は発行済株式総数の100%を保有しており、関係事業者に該当する。

(4) 事業再編を実施するための措置の内容

別表1のとおり

5. 事業再編の実施時期

開始時期：2022年1月

終了時期：2024年6月

6. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数(2021年6月末時点)

ワタキューホールディングス株式会社	0名
ワタキューセイモア株式会社	3,438名
綿久リネン株式会社	225名
東洋リビングサービス株式会社	144名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

ワタキューホールディングス株式会社	27名
ワタキューセイモア株式会社	3,620名
綿久リネン株式会社	237名
東洋リビングサービス株式会社	213名

(3) (2)中、新規に採用される従業員数

ワタキューホールディングス株式会社	0名
ワタキューセイモア株式会社	1,179名
綿久リネン株式会社	68名
東洋リビングサービス株式会社	128名

(4) 事業再編に伴い出向または解雇される従業員数

出向予定人員数	27名
転籍予定人員数	なし
解雇予定人員数	なし

7. その他

該当なし

別表 1

事業再編の措置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
法第2条第17項 第1号の要件		
ロ 会社の分割	<p>①分割会社 名称：ワタキューセイモア株式会社 住所：京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚12-2 代表者の氏名：村田 清和 資本金：4,850万円</p> <p>②承継会社 名称：ワタキューホールディングス株式会社 住所：京都府京都市下京区烏丸通高辻下ル薬師前町707 代表者の氏名：村田 清和 資本金：4,850万円</p> <p>③発行する株式を引き受ける者 該当なし</p> <p>④分割予定日：2022年1月1日</p>	租税特別措置法第80条1項6号（会社分割に伴う不動産の所有権の移転登記等の税率の軽減）
法第2条第17項 第2号の要件		
ロ 商品の新たな生産の方式の導入又は設備の能率の向上による商品の生産の効率化	<p>当社への工場集約に合わせて、当社で最新鋭のホテル専用工場を建設し、周辺の兼用工場からホテルリネンのクリーニングを集約してホテルリネンの生産性向上を図ることにします。</p> <p>同時にホテルリネンの生産能力を増強し、旺盛なホテルリネンの需要に応え、取扱量の増加による生産性の向上も図ります。</p>	